

たてものを、いきものに

LIVZON

*BUSINESS
REPORT 2020*

第69期 報告書

2019.04.01…2020.03.31

大成温調株式会社

証券コード:1904

株主の皆さまへ

たてものを、いきものに

LIVZON

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第69期の業績についてご報告申し上げるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は2020年4月より、新ブランド「LIVZON」を掲げて、新たな一歩を踏み出しました。お客さまと社会から選ばれる「総合たてものサービス企業」へと躍進いたします。新ブランドの詳細につきましては、本報告書5ページをご確認ください。

第70期は成長戦略“Decade Strategy 2020”を構成する新・中期経営計画の「大成温調@Version UP計画」の3年目に当たります。当社グループの更なる利益成長を図るべく、「企業価値の増大」と「社会への還元」を経営の中核に据え、「魅力あふれる会社」へのバージョンアップを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大成温調株式会社
代表取締役社長 水谷憲一



経営陣のご紹介

代表取締役社長 水谷 憲 一

取締役常務執行役員 今井 康 之

取 締 役 野口 光 男 ※

取 締 役 松 下 香 織 ※

取締役副会長 奥 山 徹

取締役常務執行役員 玉置 雅 幸

取 締 役 大久保 和 正 ※

取締役専務執行役員 志 田 憲 彦

取締役上席執行役員 岡 田 浩 二

取 締 役 伏 見 幸 洋 ※

※監査等委員

注) 大久保和正氏、伏見幸洋氏および松下香織氏は社外取締役であります。

スペシャル対談



山岡：2020年3月期は、売上・利益ともに期初計画に近い水準で着地しました。振り返りをお願いします。

水谷： 建設業界は、経済・景気の動向が遅行的に影響を及ぼすと言われていました。2020年3月期に関しては新型コロナウイルスの影響は最小限に抑えられ、期初に計画した業績を達成することができました。期初の受注残を意識的に高めてあったことから、期中の受注に関しても採算性を見極めながらじっくりと取り組むことができました。一方、一部の案件で進捗の遅れや予定を上回る人員投入等が生じたことにより、利益面での上振れ幅が小さくなりました。この点は非常に残念であり、今後に向けた改善のポイントであると認識しています。

山岡：役員時代から、最も重要な経営テーマとして「人材の質的向上」に取り組んでこられた水谷社長ですが、その進捗はいかがですか。

水谷： 採用市場の厳しさやシニア社員の定年退職が続く中、人員投入が必要となる足元案件の進捗が遅れてしまう

スペシャル対談

こともしばしばです。ただ少子高齢化が確実に進んでいく中、中長期的な視点に立てば従来のような「量」に偏った人材戦略には限界があります。弊社では「人材の質」こそが財産であり成長の源であるとの考えに基づき、2020年3月期に「人事3.0クラウドシステム」を稼働させました。約700名の社員それぞれが持つ知識、スキル、行動能力について360度評価を通じて具体的に細分化・見える化し、人材のクオリティとマネジメントを向上させていくための土台ができたと考えています。スタートしたばかりのシステムですので、まだまだデータを蓄積し始めた段階ですが、今期以降はさらに内容をブラッシュアップさせながら社員ひとりひとりのタレントマネジメント（能力開発・管理）に活かしていきたいと思えます。

社内外での議論や商談において「技術力」という言葉がよく使われるのですが、考えてみるとその具体的な中身が判然としないケースが散見されます。「○○支店の技術力が落ちた」とか「弊社の技術力ではチャレンジングな案件です」と決めつける前に、「技術力」と呼ばれるものの中身、具体的には一つひとつのスキルや知識といった要素を特定し、それらの足りない部分を身につけ高めていけるように変革することこそが重要であり、今回導入した人事システムをその起点とすべく今後も注力していきます。

山岡：新しい企業ブランド「LIVZON」を立ち上げました。込められた想いと狙いをお聞かせください。

水谷：人口減少社会においては、設備工事という労働集約型ビジネスの枠内に留まることなく事業の幅を広げていく必要があると考えています。2021年に創業80周年を迎えるにあたり、弊社が世の中に提供する価値を再定義し「たてものを、いきものに」という新たな企業ステートメントに明文化しました。企業ロゴやユニホームにも記す企業ブランド「LIVZON」も、生活や暮らし（「LIVE」）を、豊かにする未知の可能性（「Z」）に、挑戦していく姿勢（「ON」）を示しています。空調システムや水回りという人々の目に触れにくい厳しい現場で仕事をする同僚たちに、自らの仕事の意義と価値を実感してもらうとともに、弊社全体が一丸となり、より広い視野を持って建物の活性化に邁進していきたいという想いを込めました。新ブランドの精神を根気強く根づかせながら、事業モデルの変革を絶えず進めてまいります。

山岡：世界中を揺るがすコロナ禍は、これからの社会の在り方や人々の生活スタイルを根本から変容させるとも言われています。御社のビジネスには、どのようなインパクトを与えるのでしょうか。

水谷：日々刻々と状況が変化中、既存案件に関する工事の進捗に大幅な変化は見られませんが、民間セクターのお客さまを中心とした今後の受注動向には注意が必要であり、2021年3月期の経営環境は厳しく見ております。一方で中期的な見方をすれば、弊社が最も得意とする空調設



備の分野において今後はますますお客さまのお役に立てるのではないかと考えています。換気設備の増強や、いわゆる「密」な状態を避けるオフィス環境へのリノベーション全体を、空間のプロである弊社がプロデュースするような場面も増えてくる可能性があります。病院や介護施設などからのお問い合わせも増えておりますので、企業力を高めながらピンチをチャンスに変えていきたいと思っています。



山岡：あらためて2021年3月期の抱負をお聞かせください。

水谷：まずは「ディフェンス重視」のスタンスで臨む必要があります。経済動向に遅行して表面化するであろう建設業界におけるコロナ禍の影響を、最小限に食い止めていくことはもちろんですが、20年3月期に発生した想定外の出費や採算悪化といった失策を繰り返さないことも、利益を支えていくうえでは重要な要素になります。中期経営計画の中で積極的な投資を行ってきた財務活動においても、今期はより丁寧なキャッシュ・フローや信用の管理を心掛けていきます。

ただし守りの姿勢に終始するのではなく、換気設備や空調の交換・刷新の提案などの種まきには、着実かつ積極的に取り組んでいくつもりです。工事案件の営業以外にも、アフターコロナの時代において「たてものを、いきものに」というコンセプトとともに実現していけそうなベンチャーとの協業や産学協同研究など、未来への礎づくりも進めていきます。

山岡：株主の方々へのメッセージをお願いします。

水谷：短期的には景気の先行きが不透明な状況ではありますが、まずは弊社の存在価値を再定義し、事業構造の再構築や新企業ブランドの定着を推進してまいります。今回のコロナ禍によって、社会やビジネスの在り方が大きく変わる中であっては、必ずや弊社にとってのチャンスが増えてくると確信しており、やがてくる出番に備え安定性の高い経営を進めてまいります。着実な配当を維持しながら、キャッシュを効果的に活用し利益を伸ばすことで企業価値を高めたいと考えておりますので、引き続き中長期的な視点からのご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

新ブランド「LIVZON」

お客さまと社会から、今まで以上に選ばれる「総合たてものサービス企業」へ。大成温調株式会社は、2020年4月より新ブランド名「LIVZON」を掲げて歩み出しました。

■ブランドステートメント

たてものを、いきものに

まばゆい光が差し、めぐみの雨が注ぎ、
爽やかな風が通り抜ける大地でこそ、
生命力に満ちた植物が芽吹くように。
建物もまた、空気、水、電気という命の源が
すみずみまで行き渡って初めて鼓動を始めます。
やがてたくさんの笑顔が咲き、
新しい出会いや可能性が芽を出し、
土地に込められた人々の想いが実りをもたらすのです。
私たちが手がける設備工事は、
目に見えづらい仕事かもしれませんが、
けれど、その一つひとつは、
人々のかけがえのない暮らしや営みを支えている。
活気がみなぎる建物の命を支えている。
そう心から信じる、私たち大成温調です。

■ブランドロゴタイプ

LIVZON

ネーミングの意義性

人々の暮らしや営みを表す「LIVE」と、
未知を表す「Z」、そして、物事を活性化
させていくという意味の「ON」を組み
合わせたネーミングです。未知の領域に
絶えず挑戦し、人々の暮らしを豊かにし
ていくというLIVZONの意思と約束を表
現しています。

ブランドロゴタイプのデザイン意図

形状は空気や水を感じさせるシンプルで
洗練されたタイプフェイスとし、ブラン
ドカラーの「LIVZONブルー」には、創
業時から大切にしてきたサービスに対す
る「誠実性」や「先進性」が込められて
います。

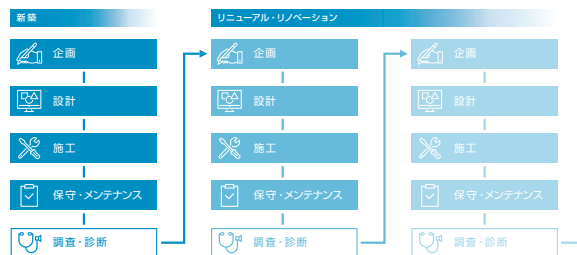
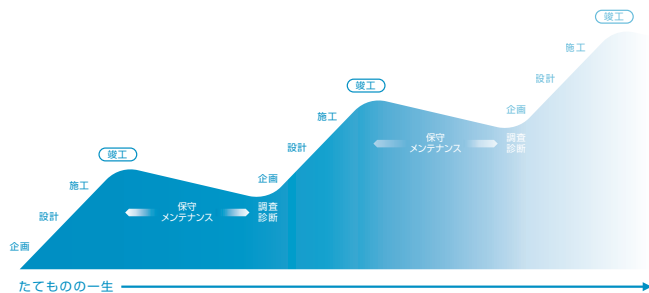
事業内容

大成温調は建物の新築、保守・修理・小工事、リニューアル工事および省エネ、節電提案等の環境改善を行う総合設備工事会社です。

LIVZONの
提供価値
「育ビル」

育ビル

たてものをいきものと捉えて「生み」「育み」、一生涯の価値を最大限に高めていきます。



ぴあアリーナMM (神奈川県横浜市)



YSアリーナ八戸 (青森県八戸市)

連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 2019年3月31日現在 | 2020年3月31日現在 |
|--------------|--------------|--------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 35,803 | 33,936 |
| 有形固定資産 | 3,568 | 3,343 |
| 無形固定資産 | 516 | 498 |
| 投資その他の資産 | 5,586 | 7,061 |
| 資産合計 | 45,475 | 44,839 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 22,333 | 21,210 |
| 固定負債 | 188 | 160 |
| 負債合計 | 22,521 | 21,371 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 5,195 | 5,195 |
| 資本剰余金 | 5,077 | 5,077 |
| 利益剰余金 | 12,151 | 12,991 |
| 自己株式 | △390 | △210 |
| その他有価証券評価差額金 | 885 | 500 |
| 為替換算調整勘定 | 13 | △50 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 20 | △33 |
| 純資産合計 | 22,953 | 23,468 |
| 負債純資産合計 | 45,475 | 44,839 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 2018年4月1日から 2019年3月31日まで | 2019年4月1日から 2020年3月31日まで |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 | 54,849 | 58,074 |
| 売上原価 | 48,400 | 51,663 |
| 売上総利益 | 6,449 | 6,410 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,477 | 4,531 |
| 営業利益 | 1,972 | 1,879 |
| 営業外収益 | 293 | 371 |
| 営業外費用 | 94 | 118 |
| 経常利益 | 2,170 | 2,132 |
| 特別利益 | 289 | 11 |
| 特別損失 | 1,614 | 11 |
| 税金等調整前当期純利益 | 845 | 2,132 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 686 | 654 |
| 法人税等調整額 | △407 | 0 |
| 当期純利益 | 565 | 1,477 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 565 | 1,477 |

連結キャッシュ・フロー計算書

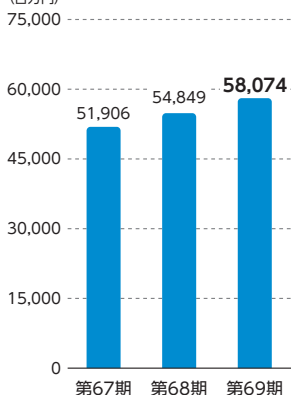
(単位：百万円)

| 科目 | 2018年4月1日から 2019年3月31日まで | 2019年4月1日から 2020年3月31日まで |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,351 | △563 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,103 | 123 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △474 | △773 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △33 | △70 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,260 | △1,284 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,763 | 9,502 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 9,502 | 8,218 |

記載数字は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

売上高

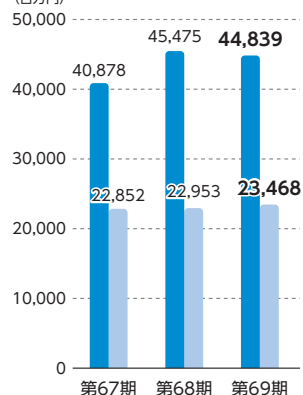
(百万円)



総資産・純資産

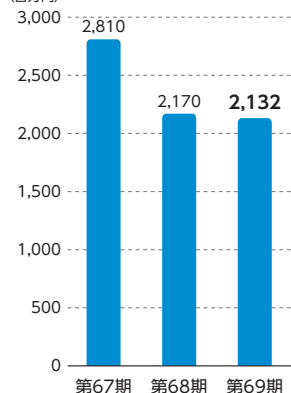
(百万円)

●総資産 ●純資産



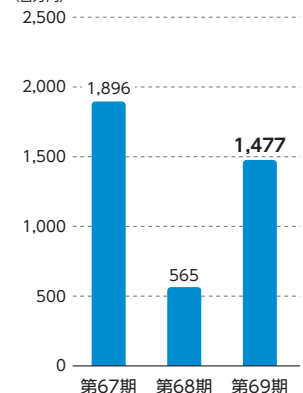
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

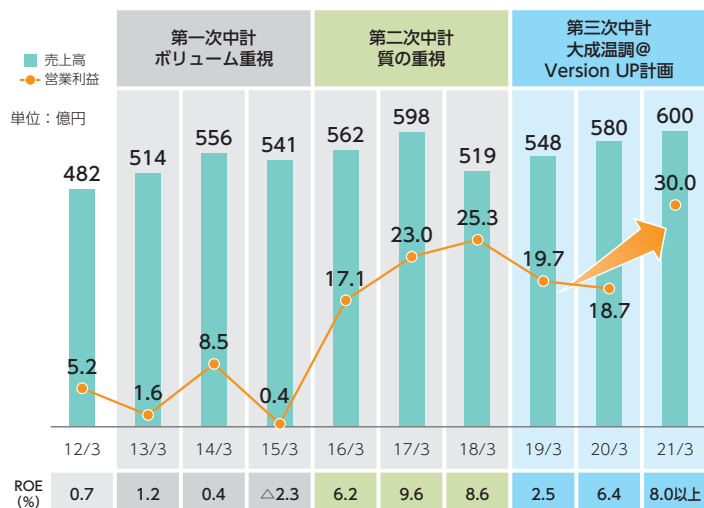
(百万円)



当社のHPでは、詳細なIR情報を掲載しております。

<https://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

中期経営計画の定量目標（連結業績）



2020年
3月期

中計目標達成に向けた、利益
を生み出す土台づくりに注力

- ・建設需要増に伴う、労務資機材費動向の不透明さ、また東京オリンピックによる特需の一服感もあり、営業活動の競争激化が懸念された。
- ・受注面では、営業活動における選別受注が功を奏した。
- ・手持ち工事消化にあたっては、一部大型工事で採算悪化など反省点もあったが、一定の利益水準を確保することができた。

中期経営計画 現状報告

| テーマ | 項目 | 現状報告 |
|---------|------------------|--|
| 競争力の向上 | 顧客基盤と直需受注の強化 | 設計部門を管理・統制するための「技術統括部」の発足 直需案件への対応強化のため一級建築士事務所登録 |
| | コスト競争力の強化と調達網の拡充 | 「TOPパートナーズ」における各種取り組み (教育研修の開放・事務手続きの支援) 調達原価データベースの構築 |
| | 技術力の強化 | 積極的な施工BIMの取り組み 複数大学との共同研究を推進 |
| 生産性の向上 | 働き方改革の推進 | 働き方改革推進委員会の発足 |
| | 生産性向上への投資拡大 | 施工管理支援アプリケーションの導入 ドローン技術等への積極的な投資 |
| 企業価値の向上 | 認知度および企業ブランドの向上 | 新ブランド「LIVZON」の立ち上げ |
| | コーポレートガバナンスの強化 | 外部機関による役員会実効性の評価実施の継続 任意の指名・報酬委員会の設置 |

詳細な中期経営計画を知りたい方は
<https://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>をご覧ください。社長が動画で概要を説明しております。



TOPICS

ぴあアリーナMM 機械設備工事を施工

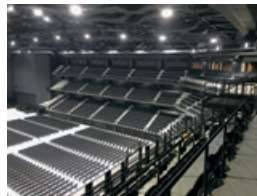
当社は、2020年3月31日に完成した「ぴあアリーナMM」の新築工事を担当いたしました。

地下1階・地上4階、敷地面積1万2,000平方メートルで、座席数は約1万席のアリーナです。民間企業の単独主導によるアリーナ建設で、1万人規模のものは国内初となりました。主にコンサートに最適なスタイルで、地上4階まで座席を重ねるように配置した縦長箱型構造により、どの座席からもステージをより近く感じるができるのが特長です。NYスタイルのデリ&スイーツビュッフェなどの有料ラウンジを常設するなど、独自の飲食サービスを構想しています。

施工に際し、アリーナを利用するお客さまに快適に過ごしていただけるよう、空調の気流を重視いたしました。アリーナ内は温度分布がとても難しく、何度も気流および温度分布のシミュレーションを重ねたうえで、吹出口へ遮蔽版を取り付ける、ダクト内にガイドベーンを取り付けるなど、様々な工夫を凝らしました。

また、吹出口の結露防止としてアリーナ内ノズルは樹脂製とし、廊下ブリーズラインは整流板結露対策品を採用しました。さらには、災害時における水確保のため、配水管から水道メーターまでの給水装置（一次側）、水道メーターから給水栓（二次側）ともに緊急遮断弁を設置し、公演時、非公演時に対応すべく水位の二位置制御をセンサー式としました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止措置を受けて、「こけら落とし」公演等が延期となりましたが、これからのエンターテインメントの一層の発展に寄与することを、願ってやみません。



ブルーイノベーション株式会社と資本・業務提携

当社は、2020年3月19日付の資本提携契約に基づき、ブルーイノベーション株式会社の一部株式を取得いたしました。

ブルーイノベーション社は、1999年設立のパイオニアとして、ドローンを活用した様々なアプリケーションやプロダクトの開発から、安全な飛行や高度な飛行制御のためのシステムの研究・開発を行っています。「Blue Earth Platform」を軸に、点検、警備、物流等におけるドローンを活用したソリューションで数々の実績を持っており、その技術は当社業態のこれからの未来に大いなる可能性を秘めていると考え、この度の資本・業務提携へと発展いたしました。中期経営計画に掲げております「生産性の向上」というテーマにおいて、「生産性向上への投資拡大」を実施してまいりましたが、その取り組みの一環です。

当社の「たてものを、いきものに」というブランドステートメントの通り、建物の一生に関わっていく[LIVZON]の価値のご提供を展開するにあたり、新築施工、リニューアル・リノベーション、保守メンテナンス、たてもの調査・診断等、あらゆる場面において、ドローン技術は、幅広いシナジーが期待できるものです。



株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力を願いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄書(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 1904

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



*本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>

*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL:info@e-kabunushi.com

会社概況・株式情報

会社概況

| | |
|--------------------------|--|
| 商号 | 大成温調株式会社 |
| 本社 | 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551 |
| 創設 | 昭和16年(1941年)4月3日 |
| 設立 | 昭和27年(1952年)12月22日 |
| 資本金 | 51億9,505万7,500円 |
| 従業員の状況 (2020年3月31日現在) | 593名 |

ネットワーク 2020年7月22日現在

大成温調株式会社

| | |
|------------|---|
| 本社・支店 | 本社(品川区)、東北(仙台市)、関東(さいたま市)、東関東(千葉市)、横浜(横浜市)、静岡(静岡市)、名古屋(名古屋市)、大阪(大阪市)、九州(福岡市) |
| 営業所 | 青森(青森市)、盛岡(盛岡市)、秋田(秋田市)、郡山(郡山市)、茨城(つくば市)、宇都宮(宇都宮市)、群馬(太田市)、我孫子(我孫子市)、千葉県南(鴨川市)、東都(荒川区)、江東(江東区)、多摩(立川市)、厚木(伊勢原市)、山梨(中央市)、新潟(長岡市)、三島(三島市)、滋賀(大津市)、京都(京都市)、神戸(神戸市)、奈良(奈良市)、和歌山(和歌山市)、広島(広島市)、四国(高松市)、沖縄(那覇市) |
| サービスステーション | 城南(品川区)、城北(品川区)、中央(品川区)、東都(荒川区)、城東(江東区)、城西(杉並区)、多摩(立川市)、横浜(横浜市)、厚木(伊勢原市)、千葉(千葉市)、我孫子(我孫子市)、大宮(さいたま市)、太田(太田市)、宇都宮(宇都宮市)、静岡(静岡市)、大阪(大阪市)、福岡(福岡市) |

株式の状況 2020年3月31日現在

- 発行可能株式総数 …………… 27,500,000株
- 発行済株式の総数 …………… 6,882,487株
- 株主数 …………… 4,829名
- 大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--|-------|-------|
| アクアウェッジ(株) | 993千株 | 15.2% |
| 大成温調取引先持株会 | 751 | 11.5 |
| 水谷日出夫 | 556 | 8.5 |
| 河村和平 | 401 | 6.1 |
| 一般財団法人ぺんぎん奨学財団 | 350 | 5.4 |
| 大成温調従業員持株会 | 282 | 4.3 |
| DALTON KIZUNA (MASTER) FUND LP | 133 | 2.0 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) | 110 | 1.7 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 | 97 | 1.5 |
| CACEIS BANK LUXEMBOURG BRANCH/ AIF CLIENTS' EQUITIES ASSETS | 94 | 1.4 |

- (注) 1. 上記のほか自己株式(349,583株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 2020年1月10日付で、ダルトン・インベストメンツ・エルエルシーより当社株式に係る大量保有報告書(変更報告書)が関東財務局に提出されております。当該大量保有報告書(変更報告書)において、2020年1月7日現在で同社が426千株を保有している旨が記載されておりますが、当社として当事業年度末日における実質保有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。
3. 当社は2019年4月9日開催の取締役会決議に基づき、2019年4月26日付で300千株の自己株式を消却いたしました。

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当 | 中間配当を行う場合には9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 |
| 事務取扱場所 (郵便物送付先) | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-782-031 |
| (インターネット ホームページURL) | https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告方法 | 電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行きます。 ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

当社および重要な関係会社（大成温調のグローバルネットワーク）

○ 大成温調機電工程（上海）有限公司



○ 大成温調株式会社

○ 温調エコシステムズ株式会社

○ ペンぎんアソシエイツ株式会社



○ ISOTEAM LTD.

※戦略的パートナー



○ ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION



○ TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED

○ SEAPRODEX REFRIGERATION
INDUSTRY CORPORATION



※戦略的パートナー

○ TAISEI ONCHO AUSTRALIA
PTY. LIMITED

○ NT AUSTRALIA
PTY. LIMITED



たてものを、いきものに

LIVZON

大成温調株式会社

ISO 9001 登録
14001

本社 ● 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号

TEL.03 (5742) 7301(代) FAX.03 (5742) 4551



UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。